



全被造界のいのちを心にかけて

2021年4月

地球とグローバル温暖化の危機に応答します。

2019 総会の決意

ラウダート・シは、私たちの共通の家をケアするように呼びかけます。

パティ ジャンセン CSJ 修道会リーダーシップチーム



2019 総会の決議は、『ラウダート・シ』を実際に行なうよう呼びかけます。この呼びかけに私たちが取り組もうとした時、カトリック教会全体がそれを行うロードマップを展開させることを知りました。それまでは殆ど何も知りませんでした。5月24日『ラウダート・シ』5周年記念年の終わりに、バチカンの人間総合開発のディカスターリーはラウダート・シのアクション・プラットフォームに含まれるラウダート・シの7項目を達成するため、その基準点の展開を開始します。

修道会は、家族、教区、学校、大学、医療施設、企業、農業農場と一緒に、総合的エコロジー7年間の旅ジャーニーを開始するように勧めています。教皇フランシスコは、『ラウダート・シ』第4章で、総合的なエコロジーについて、「全ては密接に相互に繋がっていて、地球規模の環境危機、それに伴う諸問題の側面をも考慮するビジョンが必要である」と述べています。

総会の決意を実行する指針は、個人としても、地域社会としても、より深みへ、より遠くへと、しかも、大胆に、そして創造的に地球の危機と温暖化に対応する方法をあらかじめ準備しています。毎年3か月間これらの問題に焦点を当てます。（4月はアースに関して、7月はプラスチックフリー、9月は創造の季節）。その月々のテーマに即した省察と祈りを通して、エコロジー回心へと呼びかけます。個人と企業の反応や行為、地球の持続可能性に影響を与える諸問題に立ち向かう資料を提供します。

今まさに私たちは、**遠くへ旅し、大胆に対応する準備**ができています。会のリーダーシップグループの承認を得て、会としてラウダート・シの行動プラットフォームに参加する可能な方法を積極的に調査しています。このことは、環境の持続可能性への公約を会として行うことを私たちに求めています。S.M.A.R.T.（具体的、測定可能、達成可能、関連性があり、期限付き）である測定可能な変更を行い、S.M.A.R.T. 目標にして、毎年6年間の説明責任を分かち合い、7年目は達成感を祝います。

私達の取り組みを調整するため2021年5月上旬に作業開始する本会のラウダート・シのプラットフォーム実行委員会の設立を私たちは期待しています。